

ポーランド・マクロ経済情勢

2018年5月
在ポーランド日本国大使館
経済班

ポイント

1 経済成長率は上昇基調

2017年のGDP成長率は4.6%（推計）で、経済成長率は大幅に伸びている（2016年は2.9%）。政策金利は史上最低の1.5%を維持している。

2 生産、消費は拡大傾向

3月の鉱工業生産は前年同月比1.8%増。小売販売は対前年同月比8.8%増で、消費は拡大傾向が続いている。小売販売は2016年11月から対前年同月比5%を上回る状態が続いている。

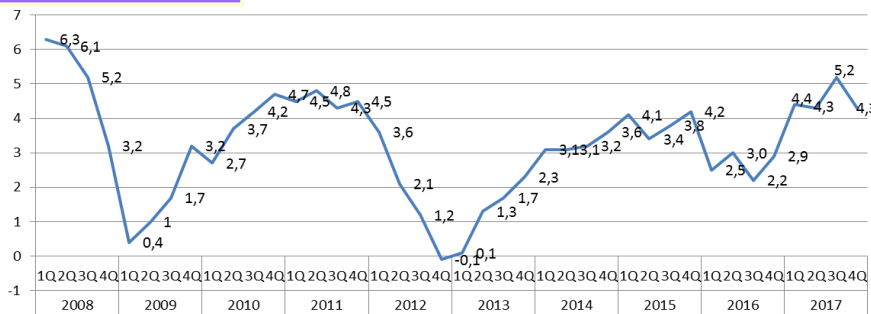
3 物価は上昇傾向

4月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比1.6%上昇。2018年2月から2ヶ月連続で中央銀行のインフレ目標値2.5±1%目標値を下回ったが、4月は目標値の範囲内まで上昇。

4 失業率は過去最低水準、賃金は上昇継続

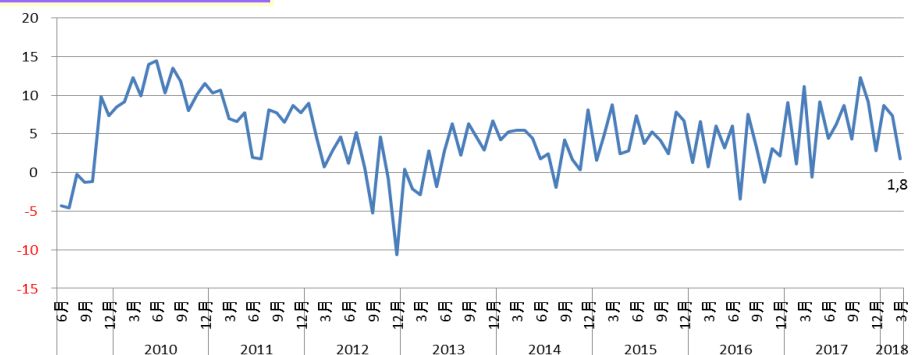
3月の失業率は6.6%、平均賃金上昇率は対前年同月比6.7%増。1月は一時的に失業率が上昇したが、2月以降は減少傾向にある。

経済成長



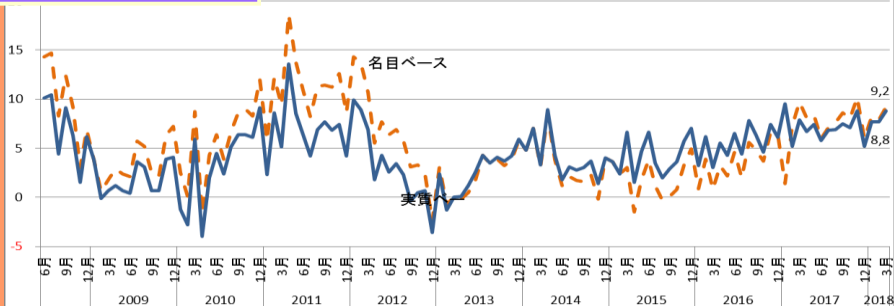
経済成長率は2016年よりも大幅に上昇。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

生産



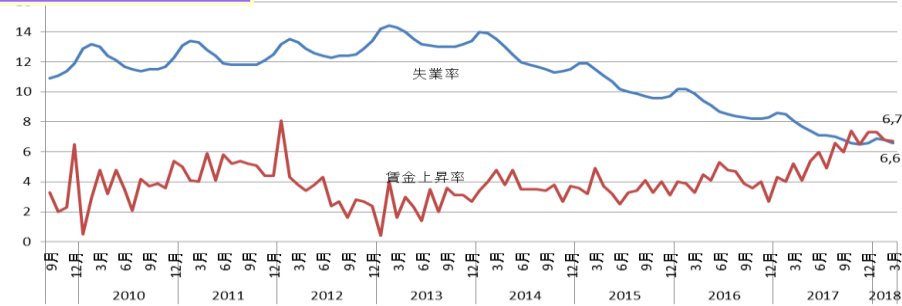
鉱工業生産は2017年4月にマイナスとなったが、その後順調に拡大を続けている。3月は伸びが鈍化した。

消費



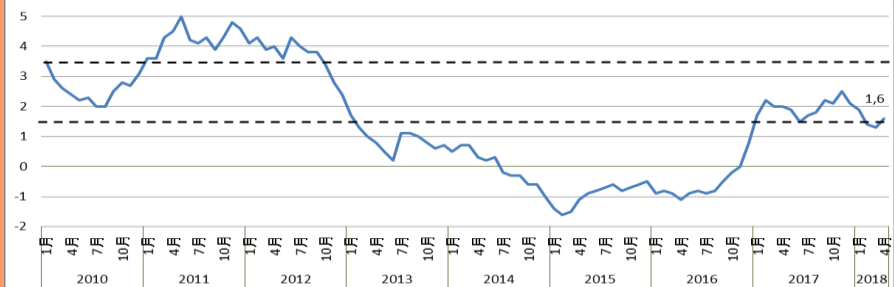
小売販売は対前年同月比8.8%増と引き続き拡大傾向にある。

雇用



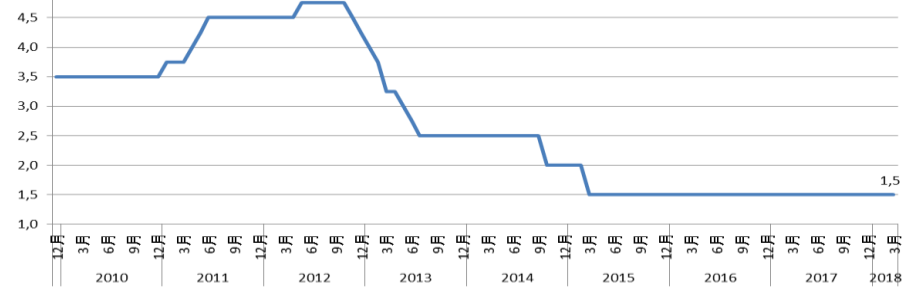
3月の失業率は6.6%と前月より微減。平均賃金上昇率は対前年同月比6.7%増と引き続き上昇傾向にある。

物価



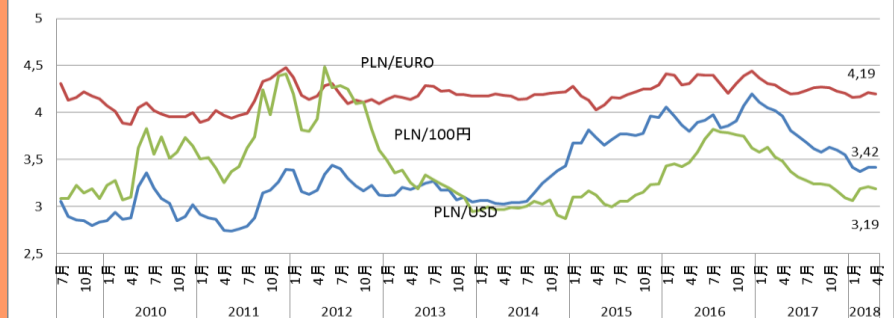
4月のCPIは対前年同月比1.6%上昇。中央銀行のインフレ目標値2.5±1%目標値の範囲内に収まった。

金利



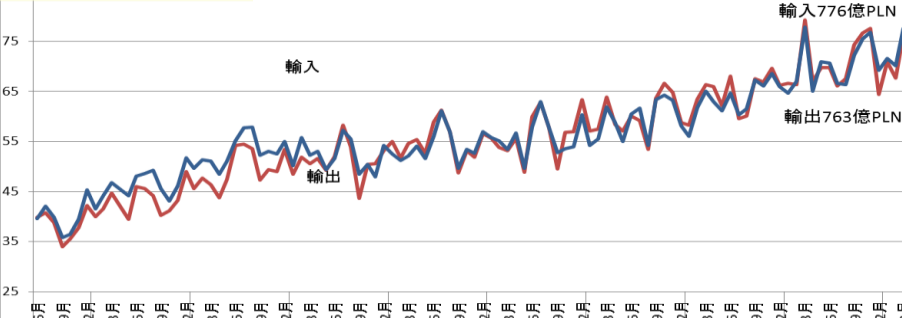
政策金利は2015年3月以来、史上最低の1.5%を維持している。

為替



4月の平均為替は、対日本円で3.19ズロチ、対ユーロ4.19ズロチとズロチ高が進んだが、対ドルでは3.42ズロチと、ズロチ安となった。

貿易



3月の輸出は776億ズロチ、輸入は763億ズロチで13億ズロチの貿易赤字となった(2月の貿易赤字額は25億ズロチ)。